

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・児童同士による作品鑑賞の場を設けたことで、お互いのよさを認め合う姿が増えた。
- ・活動内容によって教室環境を整備し、児童にとって活動しやすい環境をつくることができた。
- ・計画的に制作活動に取り組めるよう、毎時間のめあてや見通しを確認した上で活動させることができた。

(2) 課題

- ・材料や用具自体のよさについて理解するだけでなく、活用する能力を高めていく必要がある。特に、学習したことを次の題材でも生かすなど、学習のつながりを意識させた指導をしていく。
- ・制作過程における児童の進度の差が大きい。一人一人が、思い浮かべたものを満足のいく形で作り上げられるよう、授業以外の時間も使いながら支援していく。同時に、計画性をもって活動していけるように指導する。

2 分析（観点別）

(1) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①材料や用具を安全に正しく使うことができている。 ②作品の制作にかかる時間は、個人差が大きい。	①材料の組み合わせ方や切り方、つなげ方など、表現へのイメージを膨らませることはできている。 ②自分の見方や感じ方をさらに広げるとよい。	①進んで表現したり、鑑賞したりして、つくり出す喜びを味わっている。 ②形や色などに関わり、豊かな生活へと結び付けられるとよい。

(2) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①材料や用具についての経験や技能を総合的に生かしたり、方法などを組み合わせたりすることには、個人差が大きい。 ②作品の制作にかかる時間は、個人差が大きい。	①材料の組み合わせ方や切り方、つなげ方など、表現へのイメージを膨らませることはできている。 ②自分の見方や感じ方をさらに広げるとよい。	①主体的に表現したり、鑑賞したりして、つくり出す喜びを味わっている。 ②形や色などに関わり、豊かな生活へと結び付けられるとよい。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①これまでに学習した材料や用具などを生かすことができるように、助言をしたり、用具を扱う時間を十分に確保したりする。 ②題材全体や一単位時間の流れを掲示する。また、授業時間以外でも創作活動に取り組めるような時間を設ける。	①身近にある豊かな自然環境や季節感を活用して、五感（視覚・聴覚・嗅覚・味覚・触覚）を使って造形感覚や感性を磨いていく。 ②互いの作品の色や形のおもしろさやよさを見つけ合う時間を設け、自身の制作活動と結び付けられるようにする。	①材料と触れ合う時間を設けたり、ICTや実物の作品を見せたりする等、題材への意欲を高めていく。 ②身近にある作品や自分たちの作品などを鑑賞する活動を通して、造形的なよさや面白さを感じとったり考えたりと、自分の見方や感じ方を広げさせる。

(2) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①これまでに学習した材料や用具などを生かすことができるように、助言をしたり、用具を扱う時間を十分に確保したりする。 ②題材全体や一単位時間の流れを掲示する。また、授業時間以外でも創作活動に取り組めるような時間を設ける。	①題材における作品のイメージが膨らむよう、作品の工夫を見つけたり、学んできた表現方法を振り返ったりする時間を設ける。 ②お互いの作品を鑑賞する活動を通して、それぞれの違いや努力を認め合い、今後の自分と結び付けさせる。	①材料と触れ合う時間を設けたり、ICTや実物の作品を見せたりする等、作品作りへの意欲を高める。 ②お互いの作品を鑑賞する活動を通して、それぞれの違いや努力を認め合えるような場面を設定し、自分の見方や考え方を広げさせる。

